

就労準備支援事業従事者養成研修

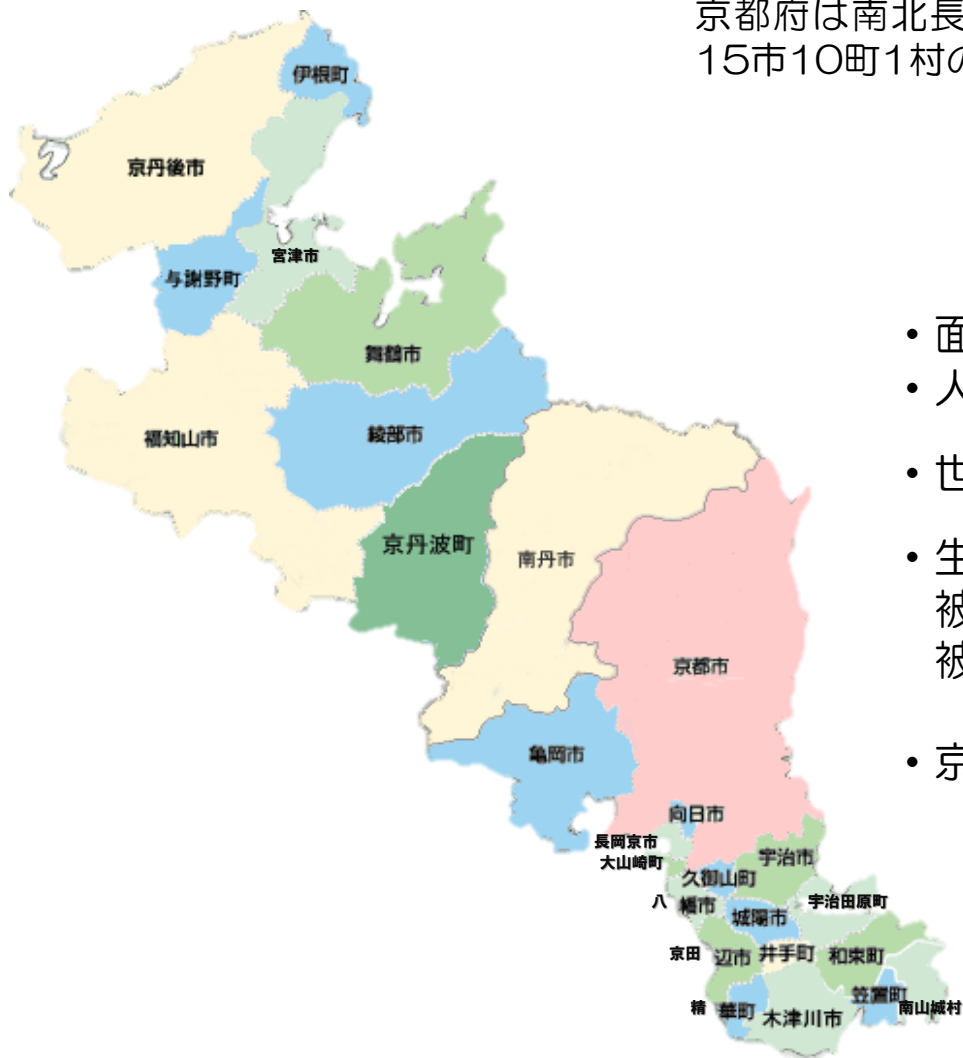
企業開拓について



一般社団法人 京都自立就労サポートセンター
主任自立就労支援相談員 高橋尚子

【 京都府の概要】

京都府は南北長さ約140kmの細長い形をしており
15市10町1村の26市町村で構成されています。



- 面積：4,612.19km²
- 人口：2,589,961人
(平成30年4月1日現在)
- 世帯数：1,171,615世帯
(平成30年4月1日現在)
- 生活保護 (平成30年4月)
被保護世帯：42,927世帯
被保護実人員：58,519人
- 京都府の有効求人倍率：1.47倍
(平成30年4月分)

(京都府および厚生労働省のHPより)

【運営体制】



【本部7名】

【北部2名】



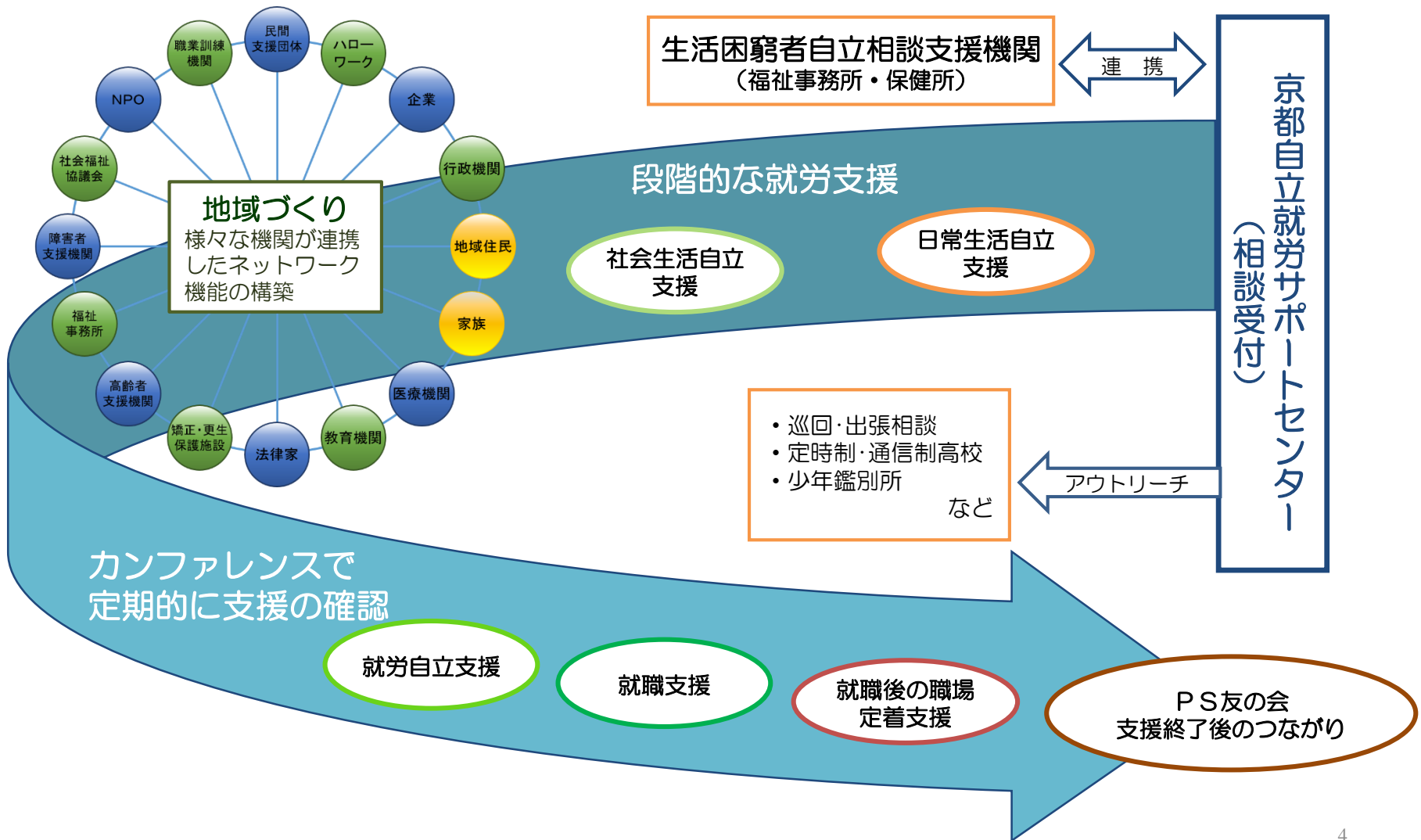
センター長	1名
主任自立就労支援相談員	1名
自立就労支援相談員（南部担当）	2名
自立就労支援相談員（北部担当）	2名
中間的就労推進員	1名
担い手育成事業推進員	2名

【沿革】

- 京都府パーソナル・サポートセンター設立 [平成22年]
- 内閣府 パーソナル・サポートサービスモデル事業 第1モデル [平成22年-平成24年]
- 京都自立就労サポートセンターに名称変更 [平成24年]
- 京都自立就労サポートセンター「北部サテライト」開設 [平成25年]
- 厚生労働省 生活困窮者自立促進支援モデル事業 [平成25年-平成27年]
- 就労体験事業（コミュニティカフェ MaliMali運営）[平成25年-平成27年]
- 法人を格取得し、一般社団法人京都自立就労サポートセンターに名称変更 [平成27年～]
- 無料職業紹介事業許可取得 [平成27年]
- 若者就職支援等推進事業 [平成27年～]
- 生活困窮者等就労準備支援事業（スキルアップ訓練）：府内全域 [平成27年～]
- 日常生活等自立支援事業：中丹・丹後地域 [平成28年]
- 就労体験事業（京丹後市に里山農園「楽」開園）：府内全域 [平成29年～]
- 若者就職・定着応援事業 [平成30年～]

サポートのイメージ

相談者の抱える課題全体を把握し、一人ひとりの状態に合わせて相談から就職、職場定着まで、ワンストップで包括的・段階的・継続的に寄り添い支援を行います。



きょうと生活・就労おうえん団

働きたくても、うまく就職に結びつかなかったり、長期離職などから働く意欲を失ってしまいそれにより社会から孤立してしまう方の再挑戦を支援する「京都式生活・就労一体型支援事業」を促進するため、京都府をはじめ様々な団体が集まって設立した自由参加型の団体です。

きょうと生活・就労おうえん団による活動

- 地域支援ネットワークづくりへの協力
- きょうと生活・就労おうえん団関連事業への寄付
- 社会参加ができる居場所の提供
- 職場見学や体験の場の提供
- ステップアップ就労の場の提供
- 就職を目指す方への雇用の場の提供

など

登録事業所数 438

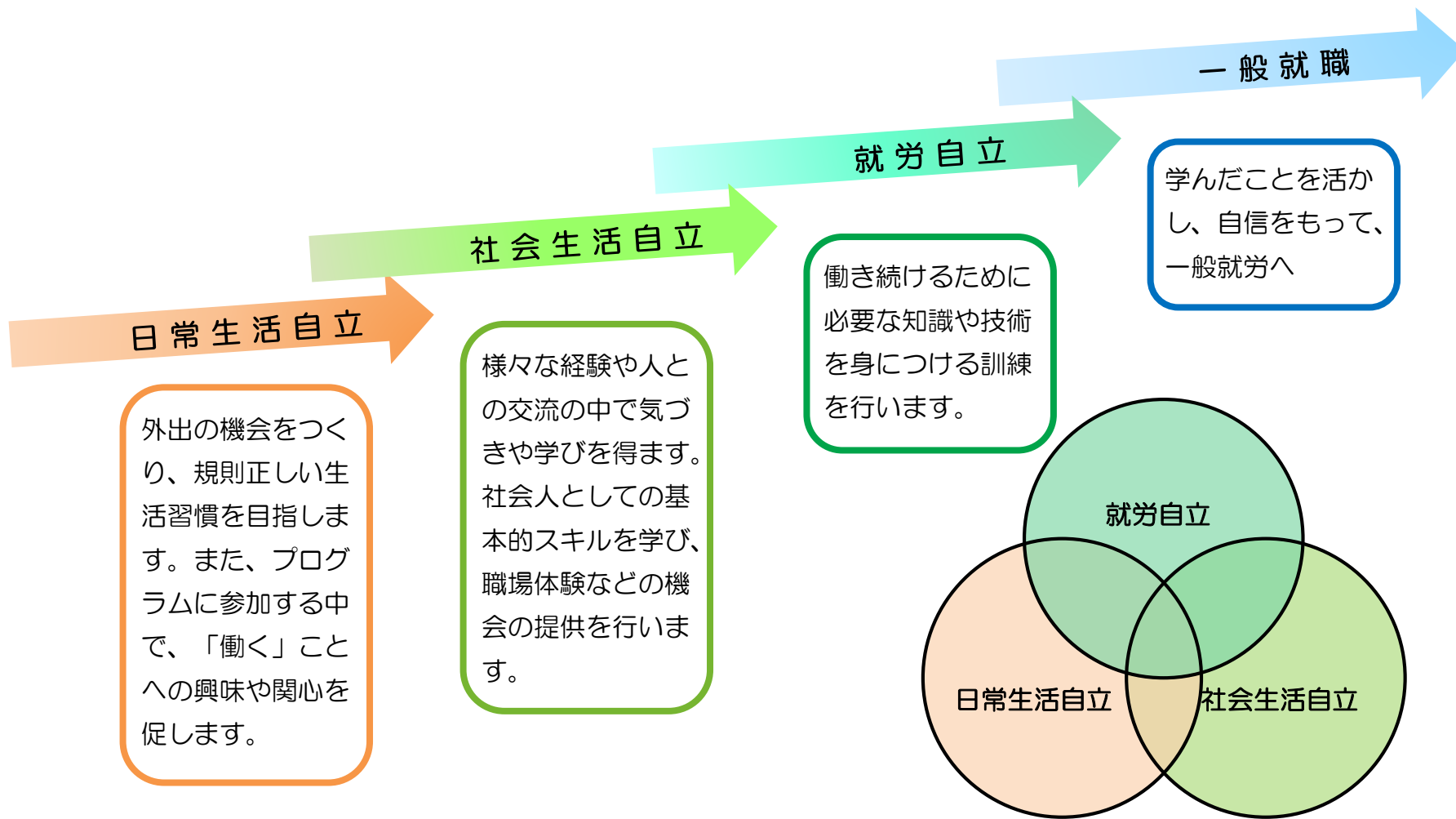
(平成30年8月末現在)

登録団体	内訳	
一般企業		312
社会福祉法人		67
NPO法人		26
その他団体		33



段階に応じた就職までの支援

働きたい気持ちはあるけれど、就職に対する不安や、働き続けることへの心配から、一歩が踏み出せない方たちに、一人ひとりの状況に合わせた段階的な支援で、一般就労を目指します。



段階に応じた就労準備支援メニュー

それぞれの段階に応じたメニューで、働くために必要な知識や技術を習得しながら自信を積み重ね就職を目指していきます。

訓練名	内 容
清掃作業初級講習	清掃作業従事者としての心得などの基礎的な知識を学び、清掃作業で使用する用具の使い方の実習を通じて、作業を行う上で必要な技術を身につけます。
ヨガから始める就職準備セミナー	座学の前にヨガや体操で心と体のバランスを整え、コミュニケーション能力の向上や働くうえで必要な社会人基礎知識を学びます。
職場体験型就職準備セミナー	座学と職場体験の一体型セミナーです。座学で学んだ社会人としての基礎知識を、職場体験で実践できます。
就労体験（担い手型）	社会人基礎力の習得から各業界において求められる知識やスキルの習得まで総合的な研修を実施したうえで、企業での実地訓練（OJT）を行い、業界理解を深め正社員での就職を目指す。
就労体験（合宿型）	複数の企業での就労体験だけでなく、農作業や地域の方たちとの交流、共同生活を通じて、自主性や他者との関係作りなど、社会生活に必要なことを学び、就職に向けて、次へ踏み出すきっかけにします。
就労体験（実践型）	就労体験計画に基づき、事業所（OJT）での就労体験を通じて、働くうえで必要な技術を向上させ、働き続ける力を身につけます。
就労体験（基礎型）	社会人としての基礎力を養うセミナーと農業体験や企業での就労体験をセットにした就職支援プログラムです。これからの就職活動についての相談もできます。
職場見学バスツアー	「求人情報だけでは仕事のイメージが分からない」といった不安を解消するため、実際にお仕事をされている現場を見学し、仕事内容や職場の雰囲気に対する理解を深め「働く」ことのイメージをつかみます。
ものづくり体験	体験を通して、ものづくりへの興味や理解を深めるだけでなく、準備・作業工程の理解・完成度を意識しながら手際よく作業するといった仕事の流れや進め方を学びます。

ものづくり体験

様々なものづくり体験を通して、ものをつくる楽しさを感じながら、目的意識をもって最後まで完成させることで、ものづくりについての興味や理解を深めます。

職場見学バスツアー

職場で実際に作業をしているところを見学し、そこで働く方の声を聞くことで、「働くこと」や職種への興味のきっかけとします。

「参加者の声」

『ものづくり体験』に参加したAさん

「簡単と思っていた作業でも、指示されたことをしっかり理解して作業することや、時間、完成度などを意識しながら作業をすると、意外とスムーズに作業を進めることができなかった。どんな仕事に就いても、同じことを意識して作業することになると思うので、働きだす前に気づくことができてよかった」。

『職場体験バスツアー』に参加したBさん

「これまでに働いたことがなく、自分が働いている姿を想像することもできなくて、不安ばかりが募って、前に進むことができませでした。実際にお仕事をされているところを見たり、話を聞いたりして、最初から出来ることばかりではなく、時間をかけて出来ることを増やしていくということがわかりました。接客業のところでは、「話すことが苦手な人でも仕事はある」という話を聞いて、自分のイメージだけで判断せず、関心を持った仕事には積極的にチャレンジしようという気持ちになれました」。

職場体験型 就職準備セミナー

座学と職場体験の一体型セミナーです。職業人としての基礎を学んだうえで職場体験を行い、「働く」ことのイメージをつかみます（座学3日、職場体験1日）。

清掃作業初級講習

清掃業の基礎知識と技術を習得するだけでなく、職場での様々な場面を想定したビジネスマナーを学びます。

「参加者の声」

『職場体験型 就職準備セミナー』に参加したCさん

「セミナーでは、挨拶や姿勢、話の聞き方などこれまでも学んだことがある内容も多かったが、職場体験の時にすぐに実践すると、事業所の担当の人に褒められたので、これぐらいできていればいいというのがわかり、よかった。体験の際に、担当の人が、自分が作ったものを見て、「きれいに出来ているので、あとはスピードだけです」と言ってくれたのを聞いて、今までものをつくる仕事は考えていなかったが、自分にできそうなものづくりの求人を探してみようと思った」。

『清掃作業初級講習』に参加したDさん

「普段から掃除はしているが、仕事としての清掃は、効率や周囲への安全などいろいろなことを考えながらやらないといけない分、大変だと思った。実際に企業内で研修をしている方から、掃除の道具の使い方だけでなく、ビジネスマナーや作業効率についてなどを教えていただき、どれぐらいのことができていればいいのか、とても参考になった」。

就労体験（基礎型：1か月）

就労に向けた様々なメニューと、農作業、軽作業、サービス業等の就労体験を組み合わせたプログラムへの参加を通じて、生活リズムを整え、他者との交流を深めながら、就職に向けた次のステップに進みます。

「就労体験」

- ・農作業、軽作業、サービス業など、様々な作業体験を通して、働く力を身につけます。

安心！

就労体験にはジョブトレーナーが同行し、スムーズに参加できるようサポートします。

「ハローワークへ行こう」

- ・ハローワークで求人検索をしたのち職種や業界のことを学びます。

「就活くらぶ」

- ・履歴書作成や面接対策などを行います

「個別面談」

- ・就労について、個別に相談することができます。

仲間が出来る！

共通の目的を持った方たちが集まり、つながりが広がります。

「書道・ペン字くらぶ」

- ・読みやすい字で履歴書もバッチリ！

「制作くらぶ」

- ・作品づくり など

「準備講座」

- ・自立するために必要なもの
- ・身だしなみとマナー
- ・発声練習（朗読など）

「家庭科くらぶ」

- ・調理実習、裁縫 など

新たな気づき！

外に出るきっかけとなり、新たな気づきや発見があります。

就労体験（実践型：1日～1か月）

就労に向けて段階的な支援を必要とする方に、職場での軽作業やそこで働く人との交流を通じて、働くための適応能力を高め、次のステップに進みます（～1か月）。

動物園での作業

園内の清掃作業を行いました。

漁協での作業

漁協で冷凍された魚の箱詰め作業を行いました。

プラスチック加工

工場見学後、プラスチックの加工体験で実際に使えるものを作りました。

ハーネス加工

実際に製品として出荷されるケーブルを作ります。

食品加工

出来上がった食品の品質確認。ここまでくれば、就労も近くなります。

取組みやすい作業体験から、就労に近いものまで様々な体験メニューを準備しています。



就労体験（合宿型：10日間）

体験を通じ就労意欲の喚起を図り、生活習慣を身につけます。
普段の生活の場を離れ、他者との共同生活・共同作業をすることで、様々な場面で相手のことを思いやることの大切さ等を実感し、社会生活に必要なことを学びます。

10日間のスケジュール

1日目	開講式、オリエンテーション（スローガン・役割と当番） セミナー「あいさつとマナー」 ～体験に参加するにあたって～ フィールドワーク「地域を知る」
2日目	農業体験① 稲刈り
3日目	農業体験② 糶摺り
4日目	就労体験①「金属加工会社での職場体験」 板金加工、研磨、塗装準備、出荷準備等
5日目	就労体験②「リネンの会社で職場体験」 洗濯の準備、洗濯物のたたみ等
6日目	就労体験③「宿泊施設での職場体験」 宿泊施設内の清掃、ベッドメイク、食器洗浄等
7日目	就労体験④「スーパーでの職場体験」 商品整理・補充、店舗内外の清掃、袋詰め等
8日目	ものづくり体験「地域の伝統工芸を学ぶ」 機織り、染色等
9日目	就労体験「農業体験③」 野菜の収穫、冬野菜に向けての準備
10日目	セミナー・体験「地域の郷土料理を学ぶ～ばらすし～」 セミナー「自らの生活と働くということ」 合宿の振り返り、閉講式

「オリエンテーション」

合宿の最初に、スローガンを決め、それに向けての目標も自分たちで話し合い決めます。

「食事の準備」

次第に共同作業にも慣れて、準備に要する時間がどんどん短くなっていきます。

「ある日の朝食の様子」

しっかり朝食をとるようになり、生活習慣を整えるきっかけにもなります。

「地域の郷土料理を学ぶ～ばらすし～」

郷土料理をつくりながら、地域の方との交流する場でもあります。

「農作業」

(稲刈り、粃摺り)

稲刈りだけでなく、その後の粃摺りや運搬など、さまざまな経験だけでなく、食についても考えることができました。

(野菜の収穫、苗の植付け)

収穫作業だけでなく、苗の植付けや草引きなどをいろいろな体験をし、農業の大変さも学びました。

「就労体験」

(地元企業(工場)での就労体験)

金属加工の会社で、加工、研磨、金属の折り曲げ、塗装の準備、出荷作業などを体験しました。

(地元企業(宿泊施設)での就労体験)

宿泊施設の清掃、ベッドメイク、食器洗浄などを体験しました。

「一日の終わり」

(日々の振り返り)

「最終日の振り返りの様子」

参加者みんなしっかり前を向いて、胸を張り、この合宿で成長できたことを話してくれました。

(食後の脳活の様子)

振り返りの後は、全員で七ならべ。

「参加者の声」

10日間なので始めは不安でしたが、自分と同じような思いを持った仲間同士、一緒に生活や作業することで元気が出て、逆に期間が短く感じました。

これまで自分に自信がなく、社会に出ることが不安でしたが、合宿の共同生活を通じて協力し合うことの大切さを知り、何でも一人でしないといけないのではないという安心感が得られました。

合宿中はプログラムだけでなく、生活面でもたくさんの経験や体験をし、今の自分のままでも出来ることがたくさんあることに気づき、このままでもいいんだと思えるようになった。

就労体験（担い手育成型：2か月）

未就労や長期離職の若年者を対象に、社会人基礎力の習得から各業界において求められる知識やスキルの習得まで総合的な研修を実施したうえで、企業での実地訓練（OJT）を行い、業界理解を深め正社員での就職を目指します（年2回：各5名程度）

① 社会人 基礎力研修

座学だけでなく、企画実習やイベントの企画・実施を通じて、実際に使える社会人基礎力を身につける。

導入研修、コミュニケーション（基礎・応用）、ビジネスマナー（基礎・応用）ストレスコントロール、企画実習・総合実習、働くための基礎知識（キャリア形成・社会保障・労働法）

② 業界別基礎 知識研修

座学での研修だけでなく、職場見学や体験を通して、各業界に関する知識や必要となる技術の基本を学ぶ。

（業界の概要、仕事の種類と関連する業界や職種、必要となる知識やスキルについて）

③ 実地訓練 （OJT）

企業での作業経験を通して、仕事に役立つ知識や技術を身につける。

OJT先は、業界別基礎知識研修を通して興味関心の持てた業種・職種や社会人基礎力研修で気付いた自身の特性を踏まえ、決定する。

業界別基礎知識研修

研修協力事業所 のべ106事業所

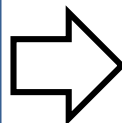
実地訓練（OJT）

OJT協力事業所 のべ29事業所

①「社会人基礎力研修の様子」

研修前の状態

- 不安が大きく、何事にも自信が持てない
- 話す、書くを問わず、思っていることを表現することが苦手
- 自信がないため、常に声が小さくなってしまふ
- 指示されたことをやるだけで精一杯で、なかなか自分で考えて動くことができない



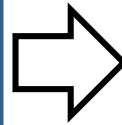
研修後の感想

- 様々な研修を通して、漠然とした不安がなくなり、自信をもって物事に取り組むことができるようになった
- 毎日振り返りを書き続けることで、自分の思っていることを言葉にすることができるようになってきた
- 座学だけでなく、何回か実習に取り組むことで、自分で考えて動くことや、自分から提案することができるようになった

②「業界別基礎知識研修の様子」

研修前の不安

- 働くことのイメージがわからない
- 自分に何ができるのか分からない
- 関心のある仕事であっても、それが自分にできるのか不安
- 求人票を見ても、仕事の内容や会社の雰囲気分からない



研修後の感想

- 様々な事業所での体験を通して、自分にどういった仕事に向いているのかが分かった
- 関心のあった仕事が想像していたものと違ってしたが、今まで関心のなかった仕事でも意外とできたものもあった
- 同じ加工の事業所でも、AとBでは全く印象が違い、自分にはAの方が向いているのではないかと思った

③「実地訓練（OJT）の様子」

参加者の声

- これまでの研修で学んだことをOJTで実践すると、担当者から褒められ、他のことも実践していこうと思った
- OJT中の目標ややることが示されていたので、今自分が何をすべきなのか、考えて作業に取り組むことができた
- よくできていると言われても、周りの方と比べてしまい、自分はまだもっと頑張らないといけないと思っていたが、センタースタッフの話や、事業所の方の評価を見て、今の段階では十分にできていることがわかり、安心できた

受入事業所の声

- 知識や経験はなくても、挨拶や作業に取り組む姿勢はしっかりとしており、従業員からも評判がよく、スムーズに受け入れることができた
- OJT中の目標設定や日々の振返りの確認を通して、コミュニケーションがとりやすだけでなく、現在の状態を確認することもでき、よかった
- 参加者ご本人と我々だけでなく、センターのスタッフさんが間にいらっしゃることで、受入れ側の課題にも気づくことができた

研修生の声

- 働きたいとは思っていましたが、自分に何ができるのかも分からず、何度か受けた面接も不採用で年月だけが過ぎていく中、自信はなかったけれど、この研修に思い切って参加してよかったです。研修が始まってからは、見るもの聞くこと初めての経験ばかりでしたが、社会人基礎力研修で習得したことがOJTで役に立つことが多く助かりました。OJTでは他の従業員の方と同じように丁寧に指導を受けながら仕事をさせていただく中で、作業の楽しさや、職場の人たちとも打ち解けることができ、ここでずっと働きたいと思い面接をしていただきました。これまでの面接ではうまく話すことができななかったけれど、OJTでの作業経験から具体的に志望動機を話すことができ、今回は緊張せずに面接が受けられ、採用してもらうことができました。（36歳男性：就労経験なし）
- 相談に行く前は、大学中退後10年近く何もしていなかった人間を雇ってくれるところなんてないと思い諦めていましたが、OJT先に正社員として就職することができよかったです。任せてもらえる仕事も増えてきて、大変なことも多いですが、仕事にも徐々に慣れてきたし、悩み事があれば、社内の方に相談したり、センターの相談員に話を聞いてもらったりしながら、働き続けることができます。（28歳男性：就労経験なし）

就職先担当者の声

- OJTの受入れ終了後にその方を採用でき、とても良かったと思っております。常に人材確保に苦慮しているわれわれにとっても、すでに、作業を覚えてくれているということもありますが、それ以上に会社の雰囲気を知ったうえで、選んでいただけたということが、良かったと思っております。（建設業：測量・調査）
- 受入れを始めるまでは、様々な面で不安もありましたが、入社後すぐに辞めてしまう人も少なくない中で、研修生という立場にも関わらず、毎日熱心に作業に取り組まれている姿を拝見し、このまま働いていただきたいと思いました。わずかな期間で、後輩の指導までできるようになってくれました。（製造業：印刷加工）
- OJTの受入れを通じて、働くことに不慣れな方の受入れ体制を検討するにあたって、外部研修制度なども新たに取り入れました。社員たちとも、今後の人材育成について話し合う良い機会になり、未経験の方を受入れることへの理解にもつながりました。（小売業：生花・加工花材販売）

職場体験型 担い手育成研修参加者 28人

(平成27年12月～平成30年8月末)

※ 数字はすべて平成30年8月末現在

研修後の様子(24名※1)

OJT先で就職	21名
OJT先以外で就職	2名
研修中止(病気療養のため)	1名

就職者の雇用形態(23名)

正社員	16名
契約社員(原則更新)	5名
常用パート	2名

※1 4名は現在研修中

職種(23名)

製造	14名
販売	3名
事務	2名
検査・設計	2名
仕分け	1名
清掃	1名

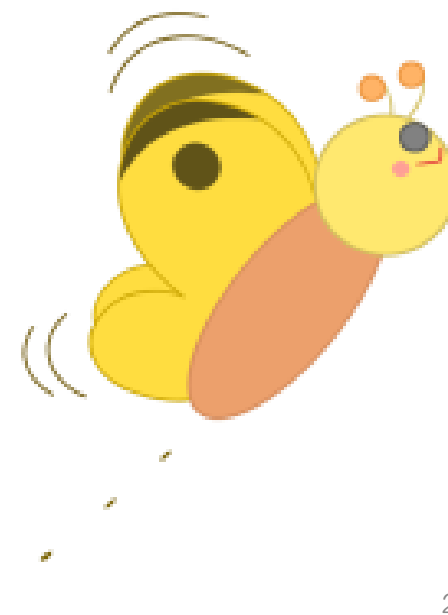
就労継続期間(23名)

6か月以上	15名
5～6か月	5名(※2)
4～5か月	1名(※3)
3～4か月	—
2～3か月	1名(※4)
1～2か月	1名(※4)
～1か月	—

※2 平成30年3月より就労開始の者

※3 平成30年4月より就労開始の者

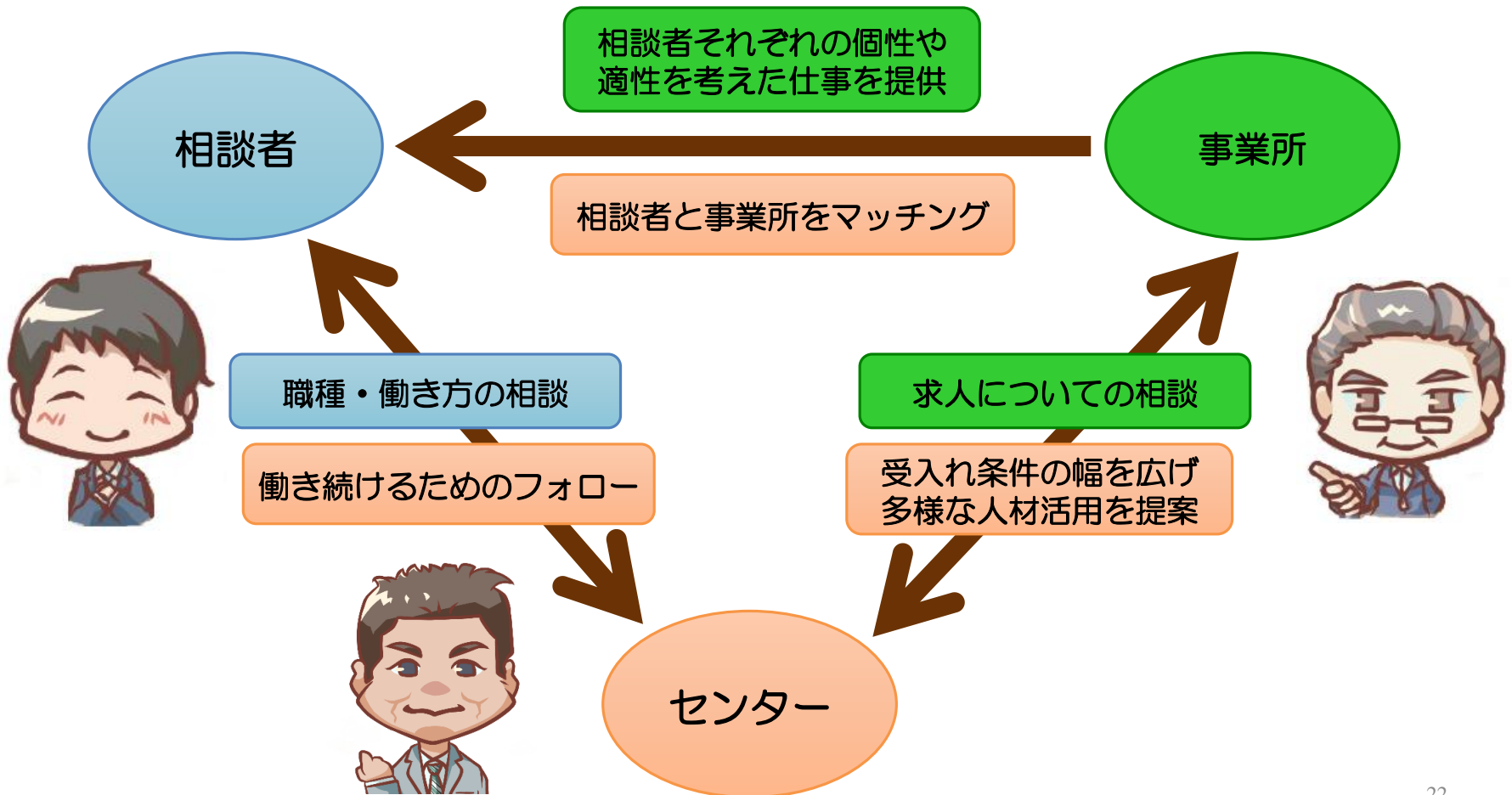
※4 病気療養のため離職



無料職業紹介を活用したステップアップ就労（雇用型中間的就労）

雇用型の中間的就労を実施していくためには、職業紹介権が必要です。ただ求人情報を提供していくのではなく、相談者の希望条件や適性に応じて事業所を選定し、職場見学や就労体験などを経て、職場定着に向けた支援を相談者と事業所の双方に行います。

*平成27年11月 無料職業紹介事業許可 取得



① ステップアップ就労が始まる前に

事前研修

- 社会人としての意識や、働いていく上で必要となる「自己管理」「前に踏み出す力」、「チームで働く力」を学びます。

職場見学
マッチング

- 相談者のヒヤリングをもとに、事業所を選定します。
- 事業所を訪問し、職場環境や仕事内容を確認します。
- 事業所からの求人申込みを受理し、求人票を作成します。

目標設定
諸手続き

- ステップアップ就労期間中の個別目標の設定を行います。
- 事業所との手続きとして、労働条件通知書で雇用条件の確認をしたうえで雇用契約手続きを行います。（無料職業紹介）



いよいよステップアップ就労が始まるぞ！
センターのサポートがあるので安心です！！

②ステップアップ就労が始まれば

ステップアップ 就労開始

雇用期間：1～3カ月
雇用条件は受入事業所による

〈参加者へのサポート〉

- 2週間に1度の定期面談で中間評価（最終評価）を行い、参加者の自己評価と事業所の評価に基づいて振り返りを行い、改善とスキルアップに向けたフォローを行います。

参加者のメリット

状況に応じて無理のない日数や時間からスタートでき、本人の適性に合った作業内容からステップアップを目指します。

事業所のメリット

職場の環境や体制を見直す良い機会となり、従業員同士のコミュニケーションの活発化につながります。

定期訪問 連携

中間評価

最終評価

〈事業所へのサポート〉

- 参加者が職場に適應できるよう、事業所と情報共有を行いながら、必要に応じてサポートを行います。



③ ステップアップ就労に参加して



「参加者の声」

41才・男性（受入先：印刷加工 ⇒ 継続雇用）

「これまでアルバイトの経験しかなく、初めて相談に来た時は、就職活動のすすめ方もよくわかっていませんでした。面談や事前セミナーを通じて、コミュニケーションについて座学で学び、実際にステップアップ就労で行った先で実践することができ、困ったことがあれば、会社の担当者さんやセンターのスタッフに相談もしやすく、働き出してからの不安も抱え込まずに解消できています」。

26才・女性（受入先：金属加工 ⇒ 継続雇用）

「前職を人間関係が原因で体調を崩して辞めており、黙々とできる仕事を希望していたところ、これまで考えたことがなかった製造職を勧められ、経験もないことから、見学や体験を経て、ステップアップ就労に参加しました。体力面での不安もあり、当初は2時間早く終わるよう調整して頂くことで、作業に慣れることに集中でき、体力、作業ともに慣れてから、フルタイムでの仕事に取り組むことができ、安心して仕事に取り組むことができました。

成長できた自分を実感し自信を持って一般就労へ！

ステップアップ就労 終了後の状況	H23年度 ～30年8月末
受入先で継続雇用	93人
別事業所に就職	73人
就職活動中	0人
進学など就職以外	6人
他の福祉サービス利用	3人
病気などで活動休止	6人
その他	2人

(平成30年8月末現在)

④ ステップアップ就労を受入れて

「事業所の声」

事業所①（ものづくり・食品）

人材の定着という点で悩んでいたときにステップアップ就労について知り、期間終了後に雇用継続という形で新しい人材を得ることもできるのではという期待もあり、参加者の受入れを決めました。受入れにあたり、社内環境やマニュアルの見直しを行ったことで、参加者がスムーズに仕事に取り組むことができただけでなく、従業員の仕事の改善や定着にもつながったように感じています。

事業所②（ものづくり・機械組立）

受入れ期間中は、2週間ごとに指導担当者とコミュニケーションをしっかりととり、必要であれば適材適所に配置換えをしたり、雰囲気作づくりに重点をおき、積極的に声掛けをしました。

仕事を覚える期間には個人差がありますが、それに合わせてステップアップできるようにしていくと、意欲的に新しいことを覚えようとする姿勢に変わっていきました。無口だった彼がウソのように明るくよく話すようになり、組み立てから検品まで任せられる立派な戦力として頑張ってくれています。



事業所③（ものづくり・食品）

人材の確保・定着に悩んでいたところ、ステップアップ就労の話を知り合いの社長から聞き、弊社でも受入れすることにしました。検討段階では、どんな人が来るのかわからないことから社内に反対意見もありました。しかし、期間中サポートセンターのスタッフの方が、参加者だけでなく会社からの相談にも応じてくれるということで、受入れを決めました。

実際に受入れてみると、まじめに黙々と仕事に取り組んでくれて、他の従業員からの評判もよく、心配することは何もありませんでした。期間中、私や他の役員が、参加者の様子を見に現場へ行く機会が増えたことで、他の従業員と話をする機会も増え、社内の雰囲気も明るくなりました。

作業効率など他の従業員と比べるとまだまだ不十分な点もありましたが、受入れ後の成長を考えると今後十分に戦力となると考え、期間満了後も継続雇用することができ、引続き新しい方の受け入れを検討したいと思えます。

事業所④（ものづくり・金属加工）

これまでにサポートセンターから複数名の参加者の方を受入れ、継続して働いてもらっています。中には、一般で応募してこられたなら、ご経歴から書類選考で不採用としていたであろう方もいらっしゃいました。1人目の方を受け入れる際、職場見学や就労体験の様子から人柄がわかっていったことや、サポートセンターの支援があるというので、受入れを決めましたが、不安な点がなかったといえうそになります。しかし、この方が、ステップアップ就労を経て、しっかりと戦力となってくれたことで、社内でブランクのある方などへの理解も深まりました。その後、サポートセンターのご紹介でいらっしゃった方もしっかりと働いてくださり、弊社としては、サポートセンターからのご紹介の方は、いろいろな形態があっても、安心して受入れができると思っております。

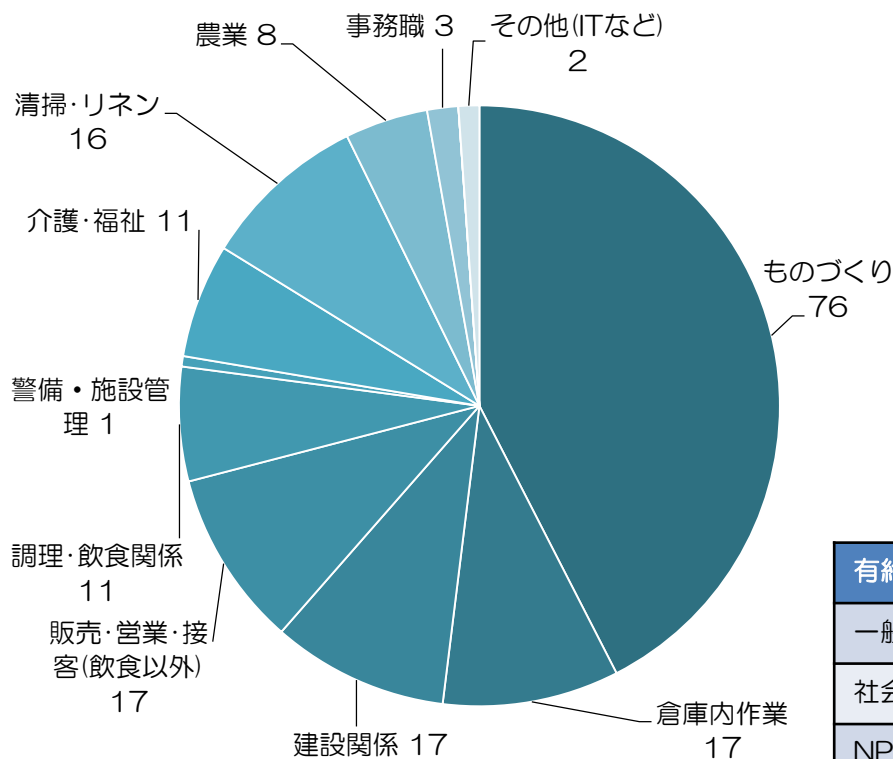
サポートセンターからは、企業開拓の方だけでなく、相談員の方までも、弊社までお越しいただき、会社のことをよく知って頂いているからこそ、弊社に合った方をご紹介いただけているのではないかと考えています。

事業所の開拓

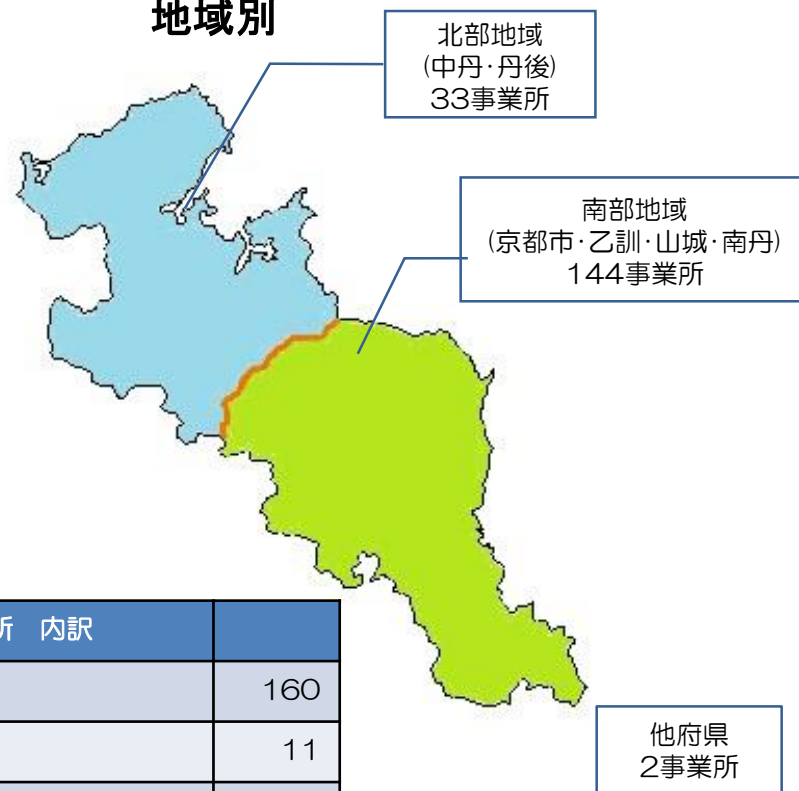
相談者の多様なニーズにいつでも対応するため、様々な職種や地域において、受け入れ先事業所を拡充していく「ストック型」と、相談者の状況に応じたより良い受け入れ先を探す「個別開拓型」の二本立てで、協力事業所を増やします。

有給雇用型 受入先 179事業所 (平成30年8月末現在)

種別



地域別



有給雇用型事業所	内訳
一般企業	160
社会福祉法人	11
NPO法人	3
その他団体	5

事業所へのアプローチ方法

受入事業所の開拓は「お願い型」ではなく「提案型」で、事業所にとってもメリットがあることをしっかり伝えることが大切です。

☆働く人を探している事業所を見つける

- あらゆる求人情報のツール（HW、折込チラシ、求人誌、貼り紙等）を活用し業種・職種、地域に偏りが出ないように幅広く探す
- すでに登録済みの事業所からの紹介
- 京都中小企業家同友会との連携
- もちろん飛び込み営業も重要

☆訪問する前に

- 事業所についての詳細を調べる（事業所の規模、仕事内容、最寄り駅からの距離）
- 約束が取れた事業所の近隣にある事業所もチェック

☆事業所訪問

- 経営者や人事担当者だけでなく、出来るだけ現場の責任者の方にも話をきいてもらう
- 支援の趣旨や、取り組みについて説明（口頭だけではなくパンフレット等を用いて説明）する
- 相談者の様子を伝えながらしっかりと売り込む
- 簡単にこれまでの事例を紹介しながら事業所にとってのメリット（人材確保、職場定着、職場環境の改善につながる等）を伝える

事業所との継続的なかわり

人材確保から定着までをトータルにワンストップでサポートします。

事業所の魅力
発信サポート

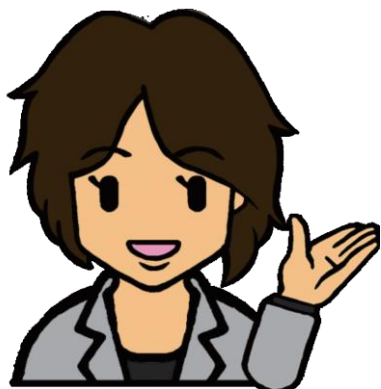
受入れ環境整備
のお手伝い

見学会や企業
説明会の開催

マッチング後
の定着支援

事業所向け
研修会の開催

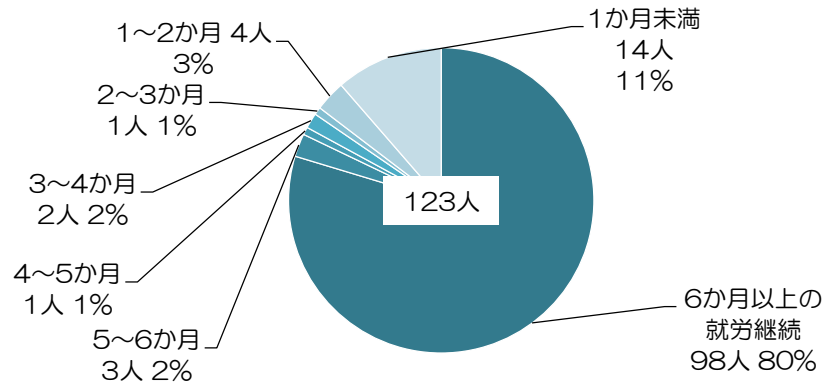
意見交換・
交流会の開催



定着支援

定着率（6か月以上） **80%**

〔 定着期間 〕



* 平成28年度南部就職者152人のうち、6か月未満の期間の定めのある雇用は除いて算出

定着支援交流会

就職後、仕事と生活が軌道に乗るまで
6か月間のフォローアップ

PS友の会

日ごろ働いている皆さんが「気軽に立ち寄れる場」としてつくられました。つながりを大切に励まし合える仲間づくりとなっています

就職内定者の内訳（雇用形態と職種）

平成30年度（8月末現在）
〔就職内定者数 64人〕

雇用形態	
常用・正社員	9人
常用・正社員以外	21人
非常用(契約・パート等)	34人

職種	
ものづくり（製造）	15人
営業・販売（飲食以外）	5人
調理・飲食関係	9人
倉庫内作業	8人
清掃・リネン	5人
建設関係	0人
配送・運転関係	2人
介護・福祉・医療・保育	3人
警備・施設管理	3人
事務・受付	7人
IT関係	0人
その他（農業など）	7人

平成29年度
〔就職内定者数 120人〕

雇用形態	
常用・正社員	32人
常用・正社員以外	26人
非常用(契約・パート等)	62人

職種	
ものづくり（製造）	28人
営業・販売（飲食以外）	20人
調理・飲食関係	7人
倉庫内作業	7人
清掃・リネン	7人
建設関係	2人
配送・運転関係	4人
介護・福祉・医療・保育	7人
警備・施設管理	1人
事務・受付	19人
IT関係	0人
その他（農業など）	18人